

読解文

問1 本文を読んで答えなさい。

私たちは、何かを早く終わることを効率が良いと考えがちである。しかし、本当に大切なのは速さだけだろうか。私は、必要に応じて立ち止まり、やり方を確かめる時間も効率の一部だと考えている。

例えば作文を書いているとき、最後まで一気に書けば短い時間で終わるかもしれない。けれども途中で一度読み返せば、話題がずれていることや同じ表現の繰り返しに気づき、その場で直せることがある。確認をせずに最後まで進み、あとから大きく書き直すことになれば、かえって時間がかかる。

また、立ち止まることには、目的を確かめる働きもある。作業に夢中になると、最初に何を目指していたのかを忘れ、必要のないことまで続けてしまう場合がある。途中で「今していることは目的に合っているか」と確かめれば、進む方向を修正できる。

もちろん、何度も確認しすぎれば作業は進まない。大切なのは、速く進むことと確かめることを目的に合わせて使い分けることである。

効率とは、ただ時間を短くすることではない。必要なところで立ち止まり、無駄なやり直しを減らしながら目的に近づくことも、効率のよい進め方なのである。

- 本文の内容として正しいものを選びなさい。
- ア 速く終わる方法なら必ず効率が良い
 - イ 必要なところで確認することも効率につながる
 - ウ 作業中は何度も確認するほどよい
- 答え _____

総合問題

問2 第1段落から、筆者が自分の考えを直接述べている一文を抜き出さない。

問3 作文を途中で読み返すといふ理由を答えなさい。

問4 作文の例が示していることとして最も適切なものを選びなさい。

- ア 途中で確認すると、やり直しを減らせる場合があること
- イ 作文は一気に書くと必ず失敗すること
- ウ 作文では同じ表現を使ってはいけないこと

- 問5 筆者が作文の具体例を挙げた目的として最も適切なものを選びなさい。
- ア 作文を書く正しい手順を教えるため
 - イ 立ち止まって確認することが効率につながる場合を分かりやすく示すため
 - ウ 作文には長い時間が必要だと示すため

- 問6 『また、立ち止まることには、目的を確かめる働きもある。』から始まる部分の役割として最も適切なものを選びなさい。
- ア 筆者の主張を支える別の理由を示している
 - イ 作文の例を否定している
 - ウ 本文とは関係のない新しい話題を始めている

- 問7 本文の結論として最も適切なものを選びなさい。
- ア 効率を上げるには何度も立ち止まるべきだ
 - イ 効率とは時間を短くすることだけを意味する
 - ウ 速く進むことと確認することを目的に応じて使い分けることが大切だ

問8 筆者が考える『効率のよい進め方』とはどのような進め方ですか。五十字以内で書きなさい。